

● 資源ごみ処理施設の機能・規模・配置の考え方（案）

1. 上小山田地区資源ごみ処理施設 整備計画の考え方

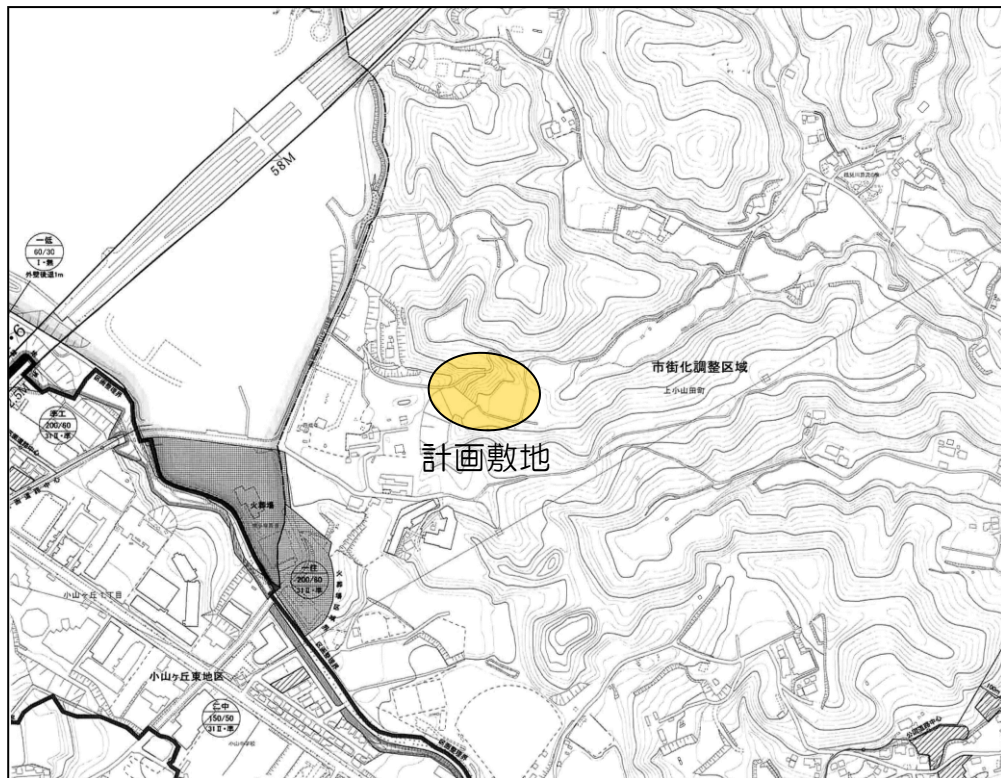
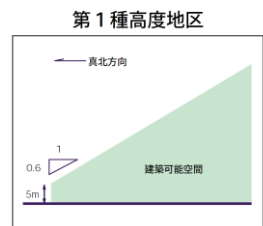
(1) 建築計画に対する制約条件

・上小山田地区に係る都市計画上の規制は、以下の通りです。

所在地	町田市上小山田町字十五号
敷地面積	約 20,000 m ² (計画面積)
地域地区	市街化調整区域
容積率	80%
建ぺい率	40%
日影規制 (※)	なし 市街化調整区域は、高さに関して第1種高度地区 (※) と同等の区域です。
都市施設	ごみ処理施設として今後都市計画決定を行う予定です

※日影規制：新設建物周辺地域の陽当たりの保護を目的とした法的規制。

※第1種高度地区：建築物の各部分の高さ(地盤面からの高さによる)は、当該部分から前面道路の反対側の境界線又は、隣地境界線までの真北方向の水平距離の0.6倍に5メートルを加えたもの以下とする。



図：用途地域図

出典：町田市都市計画図（2015年3月）

(2) 取り扱う資源ごみの品目と施設の処理能力

- 基本計画検討委員会の結果を受けて、上小山田地区と相原地区で同機能・同規模の処理能力を有する施設を建設することを計画しています。

【町田市資源循環型施設整備基本計画検討委員会報告書に記載している各資源ごみ処理施設の処理品目】

上小山田地区資源ごみ処理施設

プラスチック ビン・カン ペットボトル トレイ・紙パック 有害ごみ 製品プラスチック 使用済小型電子機器
--

相原地区資源ごみ処理施設

プラスチック ビン・カン ペットボトル トレイ・紙パック 有害ごみ 製品プラスチック 使用済小型電子機器
--



※ 有害ごみとは、乾電池、蛍光管、ライター、水銀体温計を指します。

【町田市資源循環型施設整備基本計画検討委員会報告書に記載した処理能力】
(上小山田、相原、リレーセンターみなみの合計)

- 上小山田地区資源ごみ処理施設の処理能力を以下の通り想定します。

施設の種類	施設規模 (トン/日)
容器包装プラスチック圧縮梱包施設	26.4
カン選別処理施設	6.4
ビン選別処理施設	18.8
ペットボトル圧縮梱包施設	5.8



【上小山田地区資源ごみ処理施設の規模想定値】

施設の種類	施設規模 (トン/日)
容器包装プラスチック圧縮梱包施設	10.7
カン選別処理施設	3.2
ビン選別処理施設	9.4
ペットボトル圧縮梱包施設	2.9

※容器包装プラスチック圧縮梱包施設については、リレーセンターみなみで予定している約5tの処理能力を差し引いて等分をしています。

※上記以外の品目については、直接資源化します。

(3) 施設の規模

平面の規模	約 2,000 m ² ～約 3,000 m ² (約 40m×約 70m程度)
高さ	約 20m

(4) 環境保全対策

敷地周辺の環境に配慮し、次の点に留意しながら計画を検討します。
※建設に当たり、以下のとおり「生活環境影響調査」を実施します。

① 騒音対策

- ・最も騒音が発生しやすい荷おろし作業を含め、原則、全ての作業を建屋内で行う計画とし、できる限り外部に騒音が漏れないよう配慮します。

② 振動対策

- ・収集車両の走行や施設内部に配置する機械による、周辺への振動の影響を抑えるため、進入路の位置や、機械の設置場所および設置方法に配慮します。

③ 臭気対策

- ・ストックヤードを含め、原則、全ての作業を建屋内で行う計画とし、極力、敷地外に臭気が漏洩しないよう配慮します。

④ その他、自然環境への配慮等

- ・極力、既存の自然環境を活かした計画とします

